

6月の学校の様子

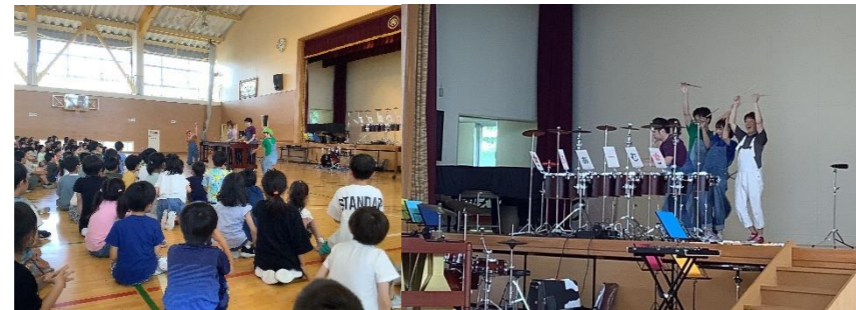
○6月16日 避難訓練

新潟地震から59年目の6月16日に地震・津波の避難訓練を行いました。雨天により、予定していたグラウンドと屋上への二次避難はできませんでしたが、全校児童は本番をイメージしながら整然と体育館へ避難できました。



○6月28日 音楽鑑賞会

「あんさんぶる りずむふぁーむ」のみなさんが来校し、音楽鑑賞会が行われました。ドラムや木琴などさまざまな打楽器でリズムカルに演奏していました。子どもたちも、音楽にのって楽しく鑑賞していました。



タイピング力の向上に向けて取り組んでいます

○考えを共有するための活用

○思考ツールの活用

○協働的に課題解決するための活用

学校では「自立した学習者」の育成を目指すために iPad を様々な学習場面で活用しています。

学習の質を高めるためには、タイピング力が必須です。朝学習や隙間時間に、子どもたちはタイピング力を確実に上げるために、タイピング練習に励んでいます。

学校では、L-Gate の PlaygramTyping を推奨しています。「れんしゅう」「とっくん」「うでだめし」に分かれていて、それぞれの実力に合わせて使用ができます。「れんしゅう」では、ホームポジションやローマ字入力がマスターできます。「とっくん」「うでだめし」では、速さや難易度に合わせてコースが選べます。

タイピングに関するつまづきを解消し、情報活用能力を高め、自分の考えを伝え合う際の手段としても効果的に活用できるように全校で取り組んでいきます。ご家庭でもぜひ取り組んでください。



教育目標 かしくく やさしく たくましく

学校タイムズ

令和5年7月4日
新潟市立大野小学校
第3号

HP <http://www.ohno-e.city-niigata.ed.jp/>

150周年記念事業「まるいけ復活プロジェクト」！
—子供たちのアイデアで「わくわくする空間」に—

校長 片山 敏郎

大野小学校のシンボルである丸池に、今は魚が一匹もいません。魚のいない池は、とても寂しいものです。

4月のある日、子どもが「春探し」の学習で、中庭でiPadを用いて写真を撮っていました。その中に生き物がいないはずの丸池の水面の写真を撮っている子がいました。「なにを撮っているの？」と聞いたところ、「あめんぼがいるんだよ」とのこと。子供の感性の鋭さ、観察力の深さに感激しました。

しかしその子は次の瞬間、「魚もいて欲しいなあ」とぼそっと呟いたのです。それを聞いて私は、「うん、確かにそうだ。やはり魚のいない池のままにはしておけない」。そう思いました。

大人が新しい鯉を買ってきて丸池に入れてやるのはすぐにできます。しかし、この課題解決を子供に委ねることで、子供の力を向上させる機会にしたいと思いました。

そこで、まず、登校する子供たちにどんな生きものがいるといいかをインタビューしました。「今までいた鯉がいい」「長生きする亀がいい」「かわいい金魚がいい」とさまざまでした。その結果を基に5月の全校朝会で、「丸池復活プロジェクト」を提案し、全校の子供たちにiPadを用いたアンケートを実施したところ、6割が回答をしました。

「どの魚がいいかな」「みんなで魚を決めているんだよ」という、我が子のわくわくする声を聞いて、ある保護者の方が、丸池の掃除を申し出てくださいました。また、学校運営協議会でお話したところ、150周年記念事業に向けた丸池整備を子供主体で事業化することに賛意をいただきました。

今、6年生の総合的な学習の時間を中心に、子供たち中心で丸池を「わくわくする空間」にするプロジェクトを進め始めています。子供自身が、学校創りに参画をする。150年目の節目の子供たちが、新しい学校を創り始めています。

